京城新聞

無題録

翠山生

▲海外に於ける日本居留民の利害休戚は又以て直接間接に祖國民の利害休戚に關するものなり、タトヒ地を異にし、國を別にすと雖も苟も日本帝國の治下にある民衆にありては、其の權利の擁護と主張の發揮とに於て何等祖國民と徑庭の存するものあるを見ず、今回の民長官撰問題の如き在韓居留民の輿論諤々喧々として沸騰しつゝあるに對し、如何んに近者祖國の新聞紙が筆を揃へて居留民の爲めに聲援を與へ、氣焰を擧げ、併せて統監府の暴戻無謀なる所置を非難せざるなきは確かに其の一證として矚目するに足るべし、見よ居常比較的平正穩健の態度を以て世人の尊重を買ひ居る時事新報の如きは之が官撰の飽迄不當にして、當局者の所置の斷じて誤れるを無忌憚論破し越[illegible]々の言議吾人をして轉た意を强うせし[illegible]足るものあり、又精勁簡練の論評を以て[illegible]界のオーソリチーたる萬朝報の如きも之が居留民の輿論の大に尊重すべきを論じ、且つ韓國内地の騷亂未だ鎭定の時機に至らず、未だ以て暴徒の跋扈陸梁するものあるに拘はらず、民長官選の如き要らざる問題を提げて一般居留民の反感を招かんとするが如きは決して策の得たるものにあらずと喝破し來りて統監府の所置を憤れるものありしは又以て吾人の同感に堪へざる所なり、而して又其の他大阪毎日、朝日及び大阪日報の如き何れも居留民の權利と輿論とを擁護し指導して自治の精神を樹立せしめ、民團の機關を圓滿ならしめんことに努むるものありしは、吾人の快心に堪へざる所にして又大に多とし諒とする所なり然り吾人は該問題に關しては敢て祖國に於ける新聞紙の言議を俟つ迄もなく、今の時今の機に於て殊に官民一致の急を感ずる此の際に於て面の當り不必要なる官選問題を掲げて一般居留民の反感を招き、激昂を買ふが如きは、斷じて官憲の爲めに取らざる所なり、時下亦帝威を逞うして炎熱金をも鎔かさんとするの候、如何に名境勝地に乏しき韓國とは云へ斯の如き銷夏法を講じて吾人居留民の午睡を攪破されんとする統監府の所置は餘りといへば餘りの惡戯にはあらざるなき乎、

▲吾人は曩きに中島参謀の視察に係る暴徒の狀況及び守備隊の情態を本紙に掲載し、尙ほ筆を改めて此等守備隊に所屬する兵士等が終日營々として多大の勞苦に從事しつゝあるにも拘はらず、慰籍の道、偸安の法としては、殆んど絶無なるを述べ、且つ併せて世の博愛仁慈の士に向つて一日も早く之が娯樂法を提供せられたく、タトヒ讀み古るしの新聞紙にても拾つて送與あらんことを說きたりしに、圖らずも吾人一篇の說議は、所謂世の博愛仁慈の士の同情を動かすものありしか、近者愛國婦人會京城支部に於ては、是等守備隊に對する慰問を企てゝ昨今種々と之が協議につき餘念なしといふ、吁々流石は愛國婦人會……吾人は少しく遲れ馳せの感なきにあらざるも、而も同會が吾人の言議に聞き今に於て斯って此の擧に出でんとするは吾人の衷心稱嘆に堪へざると共に、其の他一般博愛仁慈の士にありても大に之に倣ひ慰籍偸安の道を講ぜられんことを切望に堪へざるなり、

●松井警務局長の訓示（續）

第三　觀察使理事官との關係

觀察使に對する警察官の關係は官制に於て明瞭なるも觀察使[illegible]に監督すべき機關を欠く[illegible]實際に於ては密接の關係を欠ぎ居りしことは甚だ遺憾とする所なり過去は是を逐ふを得ず今回其設備も整ひたること故是等の點に注意し圓滿周到に警察事務の擧ることを期せられたし理事官に對しても亦之を無視し其面目を傷くるが如き態度あるべからず兩者に對しては能く其職權を重んじ自己の職務の範圍を自覺して過誤なき樣注意ありたし又報告の如きも觀察使には道所在地以外の理事廳警察の事情明ならず尙理事廳警察の事情明ならず尙理事廳所在地以外に於ける日本人警察事故は知らずさ云ふ樣なるときは是皆相互連絡を欠ぐの致す所なり今後は宜敷注意せられたし討伐に關しても最早前日と趣を異にし警察は討伐を本務とせず主として偵察に從事せられたし書記官に對しても固より各其職を守り協心戮力せざるべからず内務部との關係圓滑を欠ぎ獨り警察のみ孤立して其効績を擧げんこと固より難し最も注意を要す

司法官は警察と相待ちて事に當ること甚た多し是亦協同一致を忘るべからず若し夫れ世間動もすれば見受るが如く相互の間に睽離反目の狀を呈するが如きあらんか徒らに他人の笑を買ふに至るべし併まざるべからず警察間相互の交情は固より他官と雖ども意を用ひて圓滿に之を處せざるべからず又彼の黨を立て派を分つ如き最戒めざるべからず畢竟するに黨派を立つるは自から狹くする所以なり要するに統一を破る者は總て警察の敵なりと知るべし（未完）

偶感

●人世

夏夫

人世は一に浮世といふ、人世と云へは世に處すると云ひ、浮世と云へは世を渡ると云ふ、世に處すると云へば活々としてきこへ世を渡ると云へは何となく心ほそくもありはかないよふにもきこゆる也、人心の異なるは其面の如しとも云へば、人各其欲する方向を猛進するは自然の常態也、或は官吏となりて能事おはれりと心得るあり、或は議員となりて名譽を氣取るあり、或は軍人あり、或は農工商あり、各本分として其職を盡すを人の世に處すると云ひ、浮世を渡るとこそいふなんめり、而して其位地境遇によりて又大に其趣きを異にするは止むを得ざるの數なるか、在昔道長の大臣は

この世をはわか世とぞおもふ望月のかけたることのなしとおもへは、

と傲慢なる處世觀をうたへるに反して、身はやんごとなき皇子皇孫の御身にありながら、嘗て在五中將が惟喬親王を小野の山莊に訪へるの時、中將は

わすれては夢かとぞおもふおもひきや雪ふみわけて君を見んとは。

とうたへるに、[illegible]王は

夢かとも何かおもはんうき世をはそむかさりけんほとそくやしき。

と答へて世の運命をかこち玉へる如き、この應酬の處世觀に至ては、轉た同情に堪へざる也、人各能あり、不能あり、君子と云ひ小人と云ふ、智者と云ひ愚者と云ふ、さりとて君子智者必しも富貴を得て樂觀するものにあらず、小人愚者必しも貧賤にして悲觀するものにあらず、事實はこれに反するの多きを如何せん……この實現あつて初て人世の平を保ち得るものなるか噫。

小說　新不如歸（七十七）

篠原嶺葉著

某日の午後の事であつた、足柄少佐は淺黄千筋の袷に古代更紗の下着を重ね、其上に丸に桔梗の紋をつけた羽織を纏ひ、白縮緬の扱帶に金鎖と云ふ扮裝で、猿渡家を訪れた、すると例も取次に出るのは、橫須賀生れの勝と云ふ婢に極つて居るに、不思議にも今日は令孃島子が玄關に迎へて、婉に笑ひを見せ、そして手を取らんばかりにして奥の一室に請じた。

「近頃は少しも被來やいませんから、奈何なすつたかと思つて、お案じ申して居りました、眞個お久し振でしたことね。」

と、例になきお世辭を振り蒔く、足柄もやゝ不審に思ひつゝ、

「度々御邪魔に伺ひたいですが、貴方の宅へ度々參ると、尾花から決闘でも申込まれてはならんと、實は伺ひたいのを我慢して居るのです、如何でせう差支は無いでせうか。」

と莞爾として云へば、

「可ございますよ、多度お冷評なさいまし私はどうせ貴方方のお嬲りものに丁度可でございますから。」

と、つんと拗ねて顔を横に向けた。

「こりやどうも取んだ事を申して相濟ません、お氣に障りましたら御免下さい、まづ常談は常談として御尊父は御不在ですか」

すると、もう今の拗た顔も何處へやら、

「はい、午後から出掛けましてございます、何か御用で被在やいませうか。」

「いゝゑ、何も用向があつてと云ふのでもなかつたですが、あまり御無沙汰したもんですから、貴方のお顏を拜みながらと思つてお訪ね爲たです、はゝゝゝ。」

「可ございますよ、私はどうせおかめでございますから、ですけれど足柄さん貴方那樣にお詐めなさるのは、私に何かお恨みでもお在りなさいますんですか。」

と、怨ずる如く云へば、

「はゝゝこれは又飛んだ事を云つて怒られました、眞個非常な恨みがあつてお苛めするんですよ、ですから其お意で居て下さい。はゝゝ」

「何か那樣にお氣に觸つたか存じませんが私貴方からお恨み受けるやうな覺はございませんわ。」

「貴方は無くても、私の方に有るから爲方がないぢやありませんか、あるも、あるも澤山にあります。」

「では、何か那樣にお恨みが、お聞かせ下さいましよ。」

「いや、それは言はずに今日は失敬致しませう、どうぞ御歸宅なすつたら宜しく〱」

と、起たんとすれば、島子は慌だしく傍に寄つて緊と袂を押へ、

「いゝゑ、お恨の理由を聞かない中は、お歸し申す譯には參りません、どうぞ理由をお聞かせ下さいまし。」

と良家の家庭にあるまじき擧動して、撓垂れかゝれば、

「では、お話し申しませう、お靜かになさいましよ。」

と、袖を押へた島子の手を取るより早く、グッと引寄せた。

「あれ、まあ……」

云つたきり、足柄の爲るがまゝに、敢て爭ふ氣色もなかつた。

扨も、足柄は如何なる事を語るであらう。

廣告

廣告

一 八蔘凡一萬一千八百四十五斤（入札）
此入札保證金十萬圓
右賣下候條買受希望者ハ本月十日官報ノ公告ヲ閲覽スベシ
隆熙二年八月十日
度支部司税局

雇人 **岩見與三郎**
同 **小西外次郎**
右今般解雇致候に付自今當場關係無之候
八月七日
京城南大門外 **荒井牧場**

龜屋の西洋酒食料品**部**は
電話八一七番

開店廣告
營業科目
支那 **純金彫刻指輪**
各種 **寶石入り指輪**
其他貴金屬細工御好に應確實に調製す
京城明治町一丁目
吉川金光堂（本町座入口）

土管各種 煙管下瓶及 植木鉢 等品質内地品に勝るもの製造致し特別安價を以て販賣仕候に付多少に不拘御注文被下度候
製造販賣
水登浦韓人村 **池田土管工場**

ローヒキ、シヤツ、カラ
西洋洗濯業
セル、ラシヤ、和洋服
旭町二丁目理事廳裏 **伊丹屋**（電話三七四番）

▲**京龍醫師案内**▼

内科 外科 婦人科
入院隨意
京城南山町二丁目
植村病院（電話三三〇）

應診療
龍山旭橋通
久木田醫院
入院隨意

京城西小門通り
京城醫院分院
院長 **菅 恒**

內科 外科 眼科 婦人科 小兒科
入院隨意
診療叮嚀
吉田病院
南山町三丁目

龍山老松町
入院隨意
上田病院
電話一二八番

●**入院隨意**●
京城本町七丁目
小川病院
電話六五三
●**入院隨意**●

產科。婦人科。小兒科
京城本町八丁目
山崎病院
醫科大學產科婦人科專攻 醫學得業士 山崎宗三

齒科治療
齒科醫 勲六等 野田應治

入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院跡）
高井醫院（電話二一六番）
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

入院隨意
電話開通 **三七八番**
京城壽町三丁目清水材木店跡
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

新皇城 大漢門前
日韓病院
見習看護婦募集す希望者は本院へ來談あれ

▲流行の魁 新柄ゑり地帯あげ其他種々
取揃へ店頭へ陳列致置候間御散歩御來觀被下度候
京城明治町一丁目 ゑり徳商店

京城評論

永久的移住民

（大陸經營の先決問題）

統監府は韓國各地に在住せる十有餘萬の邦人を如何に解釋する乎、唯一時の腰掛的在留者と見做す乎、將た永久的の經營者と見做す乎、余輩は統監府が我在住邦人に對して普通の海外在留人を遇するが如き態度なるを怪むなり、否時としては統監府の韓國指導なるもの〻爲に冷遇せらるゝなり、或る一方より觀察すれば統監府の韓國指導の爲には我在住邦人は何等かの障碍あるが如くに感ぜらるゝ取扱を受るの觀あり、統監府が在住邦人に對して斯の如き態度を採るは畢竟對韓經營の眞意を誤解せるが爲なり、鹿を逐ふの獵師は山を見ず、統監府に於ては一切官憲の力を以て經營せんとし、之を專行するには韓國側の機嫌を損しては其指導に面倒なるより、一切萬事官憲の手心を以てせる爲に、偶々在住邦人の活動は之に累を及さゞるやを恐懼し一意之を制せんとするの結果は冷遇となり、壓迫となるなり、蓋し統監府に於ては斯くするを以て韓國經營の眞髓を得たるものとせり、之れ即ち統監府の誤解なり、斯く誤解せる方針より割出せる在住邦人に對する見解の誤れるは蓋し當然ならん乎。

更に統監府平常の態度に就て靜慮すれば、在住邦人に對する見解を誤れると云ふよりも、唯之れ韓國指導韓國民懷柔に全力を傾倒して在住邦人に對する方針を定るが如き餘裕なし、之が爲に自己の盡くしつゝある懷柔指導に累を受る傾向ありと見れば驚愕して之を壓せんとするなり、思へば轉た憫情に堪へざるなり、斯の如き状態なるを以て、統監府の在住邦人に對する見解は未定ならん乎、之れ余輩の問はんとする所なり、夫れ十有餘萬の在住邦人は今や概して永住的覺悟の下に活動しつゝあり、從來の如く新陳代謝するの居留民に非ざるなり、韓半島を墳墓の地として積極的經營をなしつゝある移住民なり、新陳代謝の居留民時代は既に經過せり、今は新舊古参の差別なく概して永住者なり、韓半島を第二の故郷と決心せる移住民なり、眞に帝國の大陸經營實践の先驅者として尊重すべき一塊團なり、決して浮萍の如く漂へる一時的の居留民に非ざるなり、果して余輩の觀察にして誤なくんば、是等の移住民は大陸經營の一勢力なり韓國經營上決して冷遇に付すべきものならず、從前の如き居留民を以て扱ふべきものに非ず、今は統監府に於ても韓國民の指導懷柔のみに傾倒するの時に非ず、移住民の勢力を認めて益々奮闘せしめざる可らず、既に永久的の移住民なり、之に對しては勢ひ殖民的制度の施設をなさざる可らず、徒に官憲本位を振廻す時代は去れり、治外法權撤去の如きも急なれども、先づ移住民としての邦人に對する方針を決定せよ、之れ大陸經營の先決問題ならずや、

東京電報

▲進歩黨と大博

進歩黨は大博覽會現在經費一千万圓に更に二千万圓を増加するの案を立てたるが内一千万圓は富籤收入に依る筈なりと云

地方電報

▲韓人の暴行

昨日興水院にて韓人夫七名喧嘩の末約四十名集合し暴行の末負傷者三名を生じ家三十戸を破壊す（十二日端興發）

雜報

●拓殖法の發布

東洋拓殖會社は日韓兩國の法人として設立せらるゝものなれば該會社法は曩に發布せられたる日本法のみにては形式上に缺ぐる所あるを以て更に韓國の法律として發布するの必要あり其の内容に就ては大体に於て同一たらざる可らざるも國を異にするため字句其の他に多少修正を加ふるを要するが故に目下統監府に於ける準備會議に於て審議中にして該會議終了の上は閣議に附し統監の承認を經て發布し其の規定に基きて創立委員を任命するの順序となるべしと云ふ

●日韓瓦斯の拂込

同社第一回拂込は豫ねて報せし如く去る十日最終期日なるを以て拂込の景況を聞くに同社の株主は財界悲況の際にも不拘事業の前途頗る有望なるを認めて應募せし者なるを以て確實なるもの多き爲め日本内地に於ては期日迄に殆ど全部拂込を了したる旨電報ありたる趣きなり京城に於ける景況は韓人側は期日に後れたるもの少く案外にも日本人側は期日迄に拂込みたる者少なき由なり去りながら爾來漸次拂込をなしたる者多く數日中には悉皆完了すべき見込なりと云ふ因に記す數日中に龍山敷地の起工をなし及ぶ限り速成せしむる筈なりと云ふ

●森林問題協定

安東縣領事岡部三郎氏と奉天度支司使張錫鑾（元東邊道臺）との間に協定せられたる日淸合同材木會社設立の件は去る六月下旬より約四十日間十六回の會見を重ね當初北京に於て唐紹儀氏と阿部書記官と交渉開始以來殆ど二年半を經て初めて解決せられし難問題なるが今回の會議にて双互委員間に決定せる要項左の如し

一、日本人は二十五箇年間伐木區域内に於て自由に切伐する事

一、鴨綠江より安東縣に流れ來る材木は總て會社の專買權を有する事但上海鐵道に要する枕木及び通化懷仁附近人民の需用材木は會社の手を經ず自由に買ひ得る事

一、材木會社は株式を募集し株式會社と爲すの目的なるも當分は官營とし資本金三百萬元と定め各其の半額を日淸兩政府より支出する事

一、東邊道臺を以て會社の督辦とし理事長は日淸兩國より各一人宛を選定し役員事務員等各半數たる事

●母國新聞の反對 報知新聞の所論

（上略）統監府の責任ある當局者が屡明する所は何れも吾人の首肯する能はざる所なり若し統監府の言ふが如く民間は一時的の者とすれば、敢て改革を加ふるの必要なきに非ずや、而も聞くが如き薄弱なる理由に依りて輕卒に此の如き重大なる改革を斷行したるは、近時の一大失政と謂はざる可らず、夫れ統監府は居留邦人と協和して以て韓國文物の開拓に任ずべき者なり、今日の如く統監府と居留民との間に、感情の融和せざる者あるは、韓國一般の民心を離反せしめ匪徒をして其の間隙に乘せしめ、又歐米列國の嗤笑を招くの資料となるべし、統監府たる者、宜しく民心の歸向に注意して時宜に適したる政治をなす可きに、却つて民心を激昂せしむるが如き施設を行ひたるは、吾人が統監府の爲めに取らざる所なり、今や反抗は京城に止まらず、釜山仁川に及び中には民團議員の總辭職を見るに至りたる處あり、如何にして其結末を着けんとするか、頗る憂慮すべし、統監府には堅き決心ありて、人民に何樣の反對あるとも決して其素志を變改することなかるべしと聞けども、徒らに頑强なるのみが能事にあらず、すたび發したる政令を人民の反抗によりて變更するは、韓人の手前特に妙ならざる事情もあるべけれども、之を强行して將來永く官民反目の禍源を開くも、亦得策にあらざるべし、吾人は統監府が能く其利害を考察して（最後の決斷を誤まらざらんことを希はざるを得ず。

●大坂朝日の所論

（上略）統監府が民論を抑壓せんとすればする程却て反對運動の火の手を高めんとするの傾向あるもの〻如し吾人は伊藤統監曾禰副統監の如き我が國の大政治家が、居留民全體より此の如き反對を受くるに至りたるを惜むと共に、統監府が威信の失墜に藉口して非を遂げ過を飾り飽まで民長官撰を斷行して、益民論の反抗を招かざらんことを望む、（中略）試みに思へ今日の如き情勢の下に、民長官選を斷行すとも、尚能く居留民と民長官選との間に、何等衝突を惹起するの虞れ無きや否、居留民間に於ける黨派の軋轢は憂ふ可きことなれど、官民の軋轢より生ずる弊害は更に之よりも大なるものあるべし、況んや韓國居留民團の總てに於て同一の弊害ありしに非ず、弊害を釀し居たる二三居留地の爲に弊害無かりし總ての居留民團迄も犧牲とし同一制度の下に屈下せしめんとするに於てれや思ふに統監府は角を矯めんと欲して牛を殺すの愚に傚はずとも、局部的疾患は局部的療法に依りて、之を治癒せしめ得可かりし筈なり。居留民團法施行細則第五條の存在せん限り統監は是非とも之を認可するを須ひず、苟くも不都合と認めたる場合には何時にても之が認可を拒否するの權あり、必らずしも總ての民長を官選とし、多くの場合に於て居留民とは感情の衝突を惹起し易き、理事官をして之を兼任せしむの要ある無けん、統監府は韓國皇帝及び國民に對し重大なる責任を荷へるもの臨々たる民團問題にて居留民と鎬を削り相爭ふが如きは吾人統監府の餘りに大人氣無きやを怖る、況んや內地に於ても海外殖民地に於ても、自治範圍の年々擴大されつゝある今日、饒び韓國なればとて却て之を縮小せんとするは理勢の之を許さゞる可きをや

●治外法權

本欄の再興

乞食の兒でも三年たてば三つになる、三年たつて尚緒に就かぬのは伊藤統監の韓國經營である、此は法權子の私言に非ずして昨日の東京電報の傳へたるところである▲鳥あり三年飛ばず鳴かず鳴けば必ず人を驚かす我統監府も過去三年間は鳴かず飛ばずで有つたのである、而るに今度何に感ずつたか三年無爲の政策を捨てゝ突然民長官撰と鳴いて吾人同胞を大に驚かしたのである▲他を驚かすと云ふ事は一寸面白い事であるのである彌次郎兵衛や喜多八は驛々の宿屋で數次狂言をやつて隣客を驚かし下らぬ事に悅に入つて旅の憂さを晴したのである、併し統監府が民長官撰で吾人同胞を驚かしたは眞逆かに暑中休暇の憂さ晴しとも思へぬのである、從て彌次喜多一蹴の所爲と同視することは出來無いのである▲良く阿古屋で聞くが鶏の脛は短いのである、ソウして鴨の脛は長いのである、併しドチラを切つてもツイでも自然に反するのである乃ち當事者の望に反するのである、こんな簡單な道理は秩父の次郎重忠さへ昔時に於て已に知つて居たのである▲在韓邦人の輿論は民長官撰に反對して居るのである、ソレに何でも官撰民長を押付けんとするはまさしく鶏の脛を切らんとし鴨の脛をつがんとすると同樣であつて官憲の遣口が甚だ岩永式であるのである▲公伊藤は天保仲間では唯一の文明的政治家であるのである、否他はドー思つても本人丈はソウ信じて居るのである、而かも其伊藤が鶏鴨の見易き政道の極意を知らぬに到つては甚だ情無い次第である、

●北韓國境暴徒に就て

北韓境上なる豆滿江沿岸方面より間島に出沒せし暴徒の首領李範允は黨類延秋（ヤンチカ）方面にありて黨類の募集中なるが京城附近の暴徒も之が麾下に馳せ加はらんとするものあるも露政府の取締り嚴重なる爲め李範允も今や非常の困難の地位にありと云ふ

●金州地方の賊情ご諭示

目下金州地方は概して靜穩にして二三十名よりなる火賊的集團の外は多くは解散して各地に潛伏し時機を待つもの〻如き狀況なるを以て此際彼等を檢擧すると同時に理非曲直に關し諭示するの必要を感し某隊指揮官片野氏は金州守備隊長をして各郡を巡回せしむる事となり尙此諭示は獨り日本將校のみよりは韓國官吏及民間の有力者をして協同諭演せしむるの有利なるを認め該道書記官竹崎六次郎氏に計り此處に觀察使を守備隊長と共に巡回訓諭する事となり七月廿二日金州出發任實、南原、淳昌、避老里、井邑、古阜、金堤、泰仁、金溝等の各地に於て諭示演説をなし好良なる結果を得八月五日金州に歸れり而して効果の詳報は直ちに明言し難きも巡回中の狀況は槪ね左の如し

（一）各地參集者は洞長里長及民間有力者（所謂兩班）等にして少なき地方にても四五百人多きは一千人に達せり

（二）說諭者は各守備隊長、郡守、觀察使及地方有力者等にして靜肅謹聽し大に感動覺醒の狀況を現はせり

（三）淳昌郡の如きは說諭後直ちに四十名の歸順者を出せり

（四）從來無意義に日本人を誹毀せる僻地の愚民も日韓官民の親睦的行爲を實見し大に信賴心を啓發せると認めたり

（五）該地方に於ける賊の首魁李學士は之が爲め一大打擊を蒙り任實郡附近に移文及掲罰を貼付したり

●各地方警察署長會議

會議のため來京中なりし各道警察部長は何れも夫々歸任の途に上りたるが歸任の上は各地方共道內各警察署長を召集し副統監大臣次官局長の訓示其の他中央に於て指示注意せられたる事項を示し且つ警察事務に關する事務打合せをなさしむる筈なりと云ふ

●京義京仁列車全部復舊

京義線臨津江は水害後旅客貨物の乘繼ぎ及び積替により交通連絡を取りつゝありしが同江橋梁の修理工事意外に早く進捗し昨十二日無事試運轉を修了し午前六時新幕發の南行列車より直通せりといふ依て今十三日より普通時刻に復舊し昨夜釜山發の夜行列車は本日より新義州に直通することゝなれり尙又之れと同時に京仁間列車の假時刻運轉を癈止し今朝午前六時南大門發及午前五時五十分仁川發相互の初發列車より平常の通り復舊運轉することゝなれりと云ふ

●新裁判所の執務狀況

八月一日開廳したる大審院以下各裁判所は何れも舊裁判所よりの繼續事件を處理すると共に新事件を受理し直ちに豫審又は準備審理をなし公判に廻しつゝありて頗る多忙を極め居れり而して地方裁判所檢事局のみにても八月一日以來新件の受理したるもの二十三件（强竊盜賭博詐欺）あり內數件は既に豫審を經り起訴の手續を了したりと云ふ

●大韓每日脫獄囚を庇ふ

先月十九日京城監獄署に於て看守長看守を傷けて逃走したる十四名の囚人中行衛不明となれるもの九名あり爾來警視廳は熱心に搜索を努めつゝありしが彼等の內二名大韓每日申報社に庇はれ同社にて作業しつゝある事發覺し一昨日警部巡査逮捕に向ひたるに一名は逃走し一名を捕縛引致したりと云

●椒子島の日人漁業

全羅南道莞島郡椒子島に於ける日人漁業は頗る盛況にして目下漁船の集合せるもの百二十隻（尙重なるもの和歌山縣三十隻長崎縣二十隻大分縣十隻其の他は關西の各縣）ありて鯛鮪鳥賊を漁獲しつゝあり尙地曳網をなす漁夫百名ありて此の外鹿兒島縣よりも近々來島する筈なり漁獲物は大阪商人某百三十餘噸の汽船を來航せしめ生魚の儘又は鹽魚にして本邦に廻送し居るも巡邏船の巡航なく通信に不便を感じ日用品雜貨の類は海岸に假小屋を建設して店舖となし漁夫の需用を充し居れりと云ふ

●警備電話開通

全南榮山浦美護間城津吉州間の警備電話開通せり

●動物園買上

去月來西小門通に於て開場中なりし六車動物園動物は今回宮內府より三千圓にて買上げ宮內府所屬動物園に收容されたり

●信用組合定款審査

仁川信用組合定款は愈々審査終了せるを以て本日理事廳に認可申請をなしたり

●報償金費消事件

國債報償金費消事件に關し曩きに捕縛せられたる梁起鐸の公判は愈よ來る十五日午前九時より京城地方裁判所に開廷せらるゝ筈なり當日は一般の傍聽を許さるゝと云ふ

●在監囚數

理事廳永登浦監獄署在監囚七月末の調査に依れば未決男十九人、女一人、己決男百三十四人、女一人計百五十五人なりと

●榊原少將の仁川發

榊原少將は豫定の通り昨日午前十時出帆の樺太丸にて大連に向け仁川を出發せり

●井上書記官歸京

北淸地方視察の爲め旅行中なりし宮內府書記官井上雅二氏は一昨日無事歸京されたり

●國分書記官の視察

統監府書記官國分象太郎氏は昨日出發一週間の豫定にて平壤鎭南浦、安東縣等視察の途に就かれたり

●染谷氏の赴任

外務省へ轉任したる仁川理事廳副理事官染谷成章氏は愈來十八日仁川出發外務省へ赴任する筈なるが本日午後七時より仁川俱樂部に於て官民發起の送別會を催すと云

公人私人

▲向田幸藏（平安南道警察部長）一昨日歸任
▲吉永助一（公州警察部長）同上
▲島田文之助（平安北道警察部長）同上
▲今村鞆一（忠淸北道警察部長）同上
▲陣軍吉（黃海道警察部長）同上
▲的野潤成（憲兵隊附一等軍醫）一昨日來京 金澤旅館
▲藤本榮重（同上）同上
▲杉野直三郎（同上）同上

●近事片々

▲赤牛 花の時節の來ると共に早起きの時は來る韓人にも朝顏栽培を奬勵する最も妙なるは俳仙千代の釣べ取られ貰ひ水の句也▲井戸の邊に紅白紫の朝顏咲き亂れ生々せる瑠璃色の茄子杯見れば生氣頓に回復す▲古來早起は手に金を握るの諺あり夏は殊に心地よし庭の草花の露を帶る風情千金▲暑熱も著しと雖も快事あり流汗淋漓筆の運びも遲々たる時小片の氷塊を嚙む亦快▲座敷の四方を開放して涼風に吹れつゝ眠る亦快夏日の永きを愛すとの唐人の詩眞▲桂內閣の伊藤公祭込は漸次奏効するの〻如し之が奏効すれば桂內閣は尤も安全▲伊公を口說き落すに妙を得たる桂侯の事なればよもや仕損じはあるまじとは衆評▲桂首相曰く余は財政に關して成算ありて內閣を組織せり將に責任の衝に當らんと▲大藏は整理の終結まで兼任して他に責任を移さずと此宣言にて藏相專任問題止む▲桂內閣は揃ひも揃ふて勉强家のみ就中平田小松原大浦の如きは車輪に成て働くと▲平田內相は七時に登省し一時より五時までは官邸にて取調物をなして私邸に歸る▲大浦農相も六時に登省して潔癖なる眼を隅から隅迄徹し小氣味よく事務を指揮す▲小松原文相に至ては七時登省四時迄は謹嚴なる態度にて省務を見る屬官等大閉口▲岡部の殿樣迄が七時より登省して矢張三四時頃まで居るゝと省吏等大儀也と▲大韓毎日申報國粹保全說を揭ぐ甚だ滑稽千萬由來韓國の國粹は何者なりやウフ▲國粹は兩班か將たパランス外交か北韓の牛か忠淸全羅の儒生か暴徒か聞かまほし▲豈夫溫突や長煙管や便器にも非ざるべし其他如何なる國粹の美ありや些と疑はし▲片々の寡聞なる未だ韓國に保全すべき國粹あるを聞かず願はくは之を聞くを得ん▲韓國樺太間の航路は近々開かれんとの事之れ甚だ喜ぶべきこと双手を擧て贊同す▲最初に韓米二千石を輸送するの計畫ありと着眼も眞面目也成功必ずや疑なからん▲中央亞州の阿布汗斯坦にては男女の情交を離別する藥に蛙の黑燒を使用すと云ふ▲雌雄の蛙を背合にして之を黑燒にして振り掛れば如何なる熱烈の情交も斷絶すと▲日本でいもゝの黑燒を惚れ藥に用ゆ同じ黑燒でも是は反對に利く世の迷信は種々

(明治四十一年七月 第三種郵便物認可)　明治四十一年八月十三日　京城新聞　(木曜日)　第三十四號　(三)

短編小說

愛(七)

青楓生投

時に片偶に、不言不語の獨酌で煽つて居た一人の男、折々座中をジロ〳〵と見廻しては又ガブリ〳〵と飲むのである、大分醉が廻つたのであらう、立ッて千鳥足と步き出したが、今一撥亢て〻歌はうとした美江樓の側にドッカと座を占めた、

「如何したもの〻十日間許と云ふものは、どんと顏を見せんのじやないか」

「…………」

「ハ、ア北村が歸國たので……成程夫が戀しくて……れ安くないね」

「ハイ妾、北村樣が戀しいんですよ、妾藝妓よ、婦人の最も恥ぢとする賤業婦よ」

「そんな厭味を言はなくつても宜いさ、僕の眞情をこめた此の盃、さア一杯獻そう」

彼女は、盃を受くるや、ねッ汚らはしいと廊下を目掛けて投つけた、

滿堂は白け渡つて、來賓は二人の對話に耳傾けるのであつた、

「世間には、ヤレ紳士だの、ゼントルマンだのと大そうな顏してさ、其實富豪權門に媚びる犬が多いんですよ貴方なども……」

「ナニを言はして置けば、何處迄惡口雜言するのだ」

「決して惡口じやありませんよ、事實ですよ、二宮樣貴方は北村樣に何と仰いました、萬一た忘れにはなりますまい、假令妾は、賤しい藝妓をして居ても、金力や名譽に此の愛を賣りはしませんわ」

彼女は、再び調子を合はして歌ふのであつたが、白け渡つた座敷には却て寂しい響を與へるのみであつた。

斯くして九時過、會は不首尾の間に、閉られて、千客は思ひ〳〵に散つて仕舞つた、聽て美江樓の腕車は、南大門に走つたのである。

・・・・・・

其の後、美江樓の容姿は、遂に見られなかつた。

京城の○○新聞は『咄佞奸邪智二宮哲夫を葬むるの記』と二號標題で、諄々として、正義の矢を放つたが、間も無く二宮支配人は、遠く京城を去つた、今は釜山に居るとの人の噂である。(終)

●壽町の女房斬

原因は嫉妬から▲加害者は其場にて自殺す▲被害者は助かる

時は一昨夜九時過ぎ人の往來の織るが如き壽町三丁目五十六番戶口入業中島キサ方に於て女房斬りの慘劇こそ行はれたり今其模樣を記すれば

▲被害者 は和歌山縣和歌山市三輪崎町四番地平民戶主青山熊太郎妹菊代(三〇)と云ふものにて

▲加害者 は福島縣岩城郡高久村下山口四十六番地阿部嘉太郎(三十)といふ者なり

▲兩人の關係 被害者たる菊代は今より一年半前日本に於て加害者たる嘉太郎と關係して內緣を結びたるが其年兩人とも清國大連に渡り嘉太郎は巡査を志願し試驗の結果幸に優等を以て合格し爾來同地の警察署に勤務し勤勉家として上官の受けもよかりしと又被害者菊代も夫の手助けの爲め內職をなして共に睦じく暮らし居たるが或日嘉太郎は菊代に向ひ巡査といふ職は晝も夜も打つ徹しにて此樣な困難なる職はない何分二年や三年も奉職したりとて到底身を立つることは出來ぬ望みなれば一層のこと職を辭して朝鮮仁川にでも往て商賣を初め其日暮しでも身軀の疲れぬ仕事を仕度いと二人相談の上職を辭して仁川に渡ることゝなり國元より百圓を取寄せ仁川に着したるは七月の初めの事なりしが嘉太郎は知人某が小間物店を開き稍や豐かに暮らし居るを便り斯々の次第と物語り萬事の世話を賴みたれば某も甚く同情し萬事何に彼れと夫婦の世話をなす內嘉太郎が所持せし百圓の金も何日しか費し盡したるより之れではならぬから京城へ往つて身を定めんとの念を起し本町六丁目の雜貨商大澤總松が義俠な男だから同人に賴りて此後の方針を定めんものと大澤を便りて入京したるは去る九日即ち兇行の二日前の午後なりき斯くて大澤は夫婦が困難の一什伍什の物語を聞き深き同情を寄せ兎も角此家に止宿し居れとの事に夫婦は大に喜び大澤方の食客となりたり然るに菊代は何もせず大澤方の厄介になり居るも心苦しければ何處かの女中にでも住み込み働かんと前記の口入業中島キサ方に賴み置きし所一昨日の正午大和町二丁目高木氏方に雇はるゝ相談纏りたれば菊代は大に喜び愈よ同家に住み込むことゝなりたり

▲兇行の原因 此日大澤方には盆の十五日夜にて雇女中なども忙はしきより二階に下宿し居る通信管理局員長谷川清次なる人に夕飯の膳を運ぶに人手少なき爲め菊代が代りて之れが給仕をなしつゝ暑い涼しいの挨拶から女の愚痴が洩れて身の上話しなどに及び稍や時を經たるにぞ嘉太郎は甚くこれを嫉み定めて長谷川と關係し居るに相違ないと僻み根性を出し不埒な女だ自分が落魄したを幸ひに俺を捨て外に情夫を拵ふるとは用捨は出來ぬと菊代を打擲するより菊代は堪り兼ね其場を逃れて口入屋に至り隱れ居りし所に暫くして嘉太郎は御免と云つて這入り來り店先きにて二人は何事か話し時々は笑ひ聲さへ聞へたる位なるにぞ中島方にては別段氣にも止めず他の客と口入の事に就て相談し居りしに嘉太郎は此時殺意を起したるものと見へ菊代を奧の三疊の間に連れ込まんとしたるにぞ菊代は之を拒みて振り離さんとする嘉太郎は無理矢理に引入れんと爭ふ中菊代の片袖は切れて疊の上に落ちたり此時早く嘉太郎は所持したる銳利なる剃を以て菊代の咽喉を見掛けて斬り付け返す刀物に再び斬り込まんとせしを菊代は手を舉げて之を受け留めたる爲めに兩手とも掌上に深き傷を受け下顎骨と都合三ヶ所の重輕傷を受けたれば菊代は人殺しと悲鳴を揚げて表に飛び出し直ちに附近なる高井病院に駈け込みたれば嘉太郎は最早是迄とや思ひけん件の剃を以て我と我が咽喉を斬りて自殺を遂げたり

▲警官の出張 高井病院にては被害者が血塗れとなつて駈込みたれば大に驚き直ちに應急手當を加ふると共に此旨南部警察署に電話を以て急報したれば此急報に接し直ちに警部巡査出張し檢視を遂げたるが嘉太郎は左下顎中央より甲狀軟骨の上部を切除し右下顎骨の中央部に至る動脈を切斷し出血甚だしく剃を緊と握りたる儘紅に染みて死し居たり屍体は本町六丁目雜貨商大澤總松に引渡されたり

▲菊代の容體 菊代は嘉太郎に斬らるゝや悲鳴を揚げて高井病院に駈込み治療を受けたるが負傷は咽喉一ヶ所と兩掌に二ヶ所にて案外に輕く二週間もせば全治すべしとのことなり

▲現場の光景 現場なる中島キサ方は韓人家屋其儘の建物なれば狹き店口より兇行の三疊の間に至る間は血潮を以て充滿し嘉太郎の死したる所などは血の河をなして腥氣鼻を衝き建物なども血痕の斑々たるなど其悽慘なる光景は人をして思はず戰慄せしめたり此の兇行のありし時は宵過ぎて間もなきことゝ云ひ盆の十五日のことの出來事なれば人通り例よりも多かりしかば此報の傳はるや夫れ人殺しがあつたと彌次馬連の集りしもの非常に多く一時は通行も出來ぬ程にて警官の臨檢濟み死体を引渡し了りたる後漸く解散するに至りたるが近頃の一大椿事なりし

●連絡船と漁船の衝突

本月五日午后九時七分關釜連絡船壹岐丸釜山より航行の途同港外冬相島高頂より二分一海里東北の處に於て韓國漁舟三隻に出會し內一隻に衝突せり漁舟は東萊郡赤岬居金仁水の所有にして同人及び乘組員三名と太刀魚漁に從事なりしが當夜朦朧たる月光は漁舟の所在を判明するを得ず漁舟に燈火を點せざりしため壹岐丸は航頭危機一髮の間に漁舟を認め全速力を以て後進を試みしも急機の一刹那竟に衝突し船体を兩斷して沈沒し乘組員は海中に顚落せしも直ちに救助せるを以て生命には別條なく破船は此れを赤岬濱に引揚げたるが壹岐丸には何等の損害なかりき

●京仁龍左官同業組合●●●●●●● 同組合は去る十日午後五時より京城日本人商業會議所樓上に於て創立總會を兼ね通常總會を催したりしが顧問增本好三郎氏は規約の編成役員の選擧を爲し其の結果役員には組長後藤鶴正氏副組長には鷹成富四郎田岡卯三郎上田末太郎の三氏を推選せりといふ

●怪しからんチウ譯

今日此の頃の暑さにてもめげずヤハリ自然主義はソコ等茲等に流行するものと見ゆ愛南山町は巴城館にツイ此の頃迄女中奉公をなし居りし末とかいふ女ありと思召せサテ此の女ナカ〳〵酢でも蒟蒻でも喰へずツマリ下ッ腹に毛のない阿婆摺なるが戀といふ奴は奇妙なものにて蓼喰ふ虫も好き〳〵さやらの譬へ通り今迄二世を契めた大事の〳〵の男あるにも拘はらず何んと心機の一轉せしにや近者は四辻にボンヤリと突ッ立ち居る人民保護の巡査さんが戀につきマア此の暑いのにタトヒ勤めとはいへ可愛想だワと妙な所に同情心を寄せ私でよければ脊の汗も拭きませう臥戶の蒲團も敷きませうと思ふにつけても結局一人の男を定めずばならねば彼れよ此れよ自分の思に叶つた巡的を鵜の眼鷹の眼で詮索中好運にも其の撰に當りし查公はヤハリ南山町二丁目あたりに住む川畑とか呼ぶ男なるが此の查公至つて薄給にて一ヶ月の月俸は手當から何にから總計三十二圓三十一錢五厘なれば甚麽して新町杯で公然の遊興を恣にすることの生れ代はつたら兎も角マツ今の場合到底出來兼ねる所より愛等の女が當坐の手頃と女の方から持ち掛けて來られたを幸ひスッカリ當世の色男を氣取りて日々其の女と乳繰り合ひ居れるとかの噂なるがもし果してソウとすれば誠に以て風紀取締上怪しからんチウ譯だわいとの投書のまゝを

●負債の爲め自殺

南部廣道坊由洞三十統十二戶彭義均(四十)は二年程より藝妓商賣を始めたるが一向アラランの歌に浮れ來るノラクラ息子の少なきより之れは多分別嬪が少くないからだらうと竊に思惑を廻し時は去る六月の頃平壤に藝妓の美くしきものを求めんと四苦八苦で三百圓の大金を調達し思ひ通り美人を引連歸りしが十日經つても廿日經ても客といふ○持ちはチユともせぬので義均は非常に心を痛め家計の事より三百圓の辨濟は甚麽したものかと常に惱みつゝありしが遂に精神に異狀を來たし爲めに昨十二日午前八時自宅の房にて多量の阿片を服し自殺を遂げたり警察署よりは急報に接し小島巡查部長及び山本警察醫出張の上檢視をなしたり

●色情狂ひ

世には一種の色情狂ありて良家の婦女子を惱ますことは往々聞く所なるが此も又た其類ひなるべし此頃のことなりし永樂町一丁目某氏夫人が門前に佇立し居りしに三十六七とも見ゆる齣髭掛の男通り夫人の佇立し居るを見て何と思ひしか前垂を橫に押し退けるや否や憚りもなき擧動を演せんとするにぞ夫人も吃驚りし門內に入らんとせし際通信管理局邊りに出勤さるゝ某官吏が通り掛りしかば右の男は其儘何處へか去りたりしが其後も時々同町附近を徘徊して婦女を見ては右の如き猥褻極まる擧動に及ぶ由なるが昨朝も又た同所に來り土壁の破れより女中などが洗濯しつゝあるを覗きつゝ怪しかることをなしたる後何處へか立去りたる由斯の如き色情狂は婦人に逢へば如何なる椿事を惹起せんとも測られず且つ又風紀上甚だ害毒を及すを以て其筋に於て嚴重に注意せられんことを希望するものなり

賣土地家屋

京城明治町二丁目(但地上にある家屋共)

一、宅地二四三坪七五

右至急放賣仕候間御希望の方は御來談あれ

明治町一丁目 熊井幸兵衛

●私は歸ります

昨朝午前七時一俥を驅つて南大門ステーションに驅込みたる妙齡の少女一人あり下車するやうら優しき國訛で何事をか人に尋ぬる其の態度稍不審なるより同驛詰巡查は不審に思ひ其の如何なる人なるかを取調べたるに妾は長崎縣高來郡島原生れで森川菊代(十九)今まで本町七丁目林田十次郎方に雇はれ居りしも主人の虐待甚しく到底辛抱の出來かぬる故只今歸國する處でありますとの申立により巡查は早速前記林田に電話を以て問ひ合せたる處右菊代の申立は狂氣の沙汰と判り早速林田に引渡し懇々說諭を加へ置きたるが多分故鄉戀しき[illegible]らんと殊に二三日前より少し可笑しかりし

▲電二九○番▼

勤もあるより注意を加へ且つ菊代の兄なる御代藏へも林田より書面を出すべく注意されたり

●演藝だより

▲歌舞伎座 同座本晚の出物は觀客の好みに依り松風村雨(七場)にて場割及び役場は左の如し

(一)花月華堰(二)桶川昌之宅(三)大阪天王寺桶川昌之宅(四)濱寺公園一力(五)北浦家奧庭(六)京都智恩院(七)高輪病院

理學博士粟原明(酒本俊雄)桶川昌之(大山駒三郎)乙哉母律子(北秋喜三郎)幸子(桂五郎)大山夫人(美咲信子)藝妓美代次後に美代子(吉野小二郎)娘須摩子(中村桐之助)北浦乙哉、髮結れ琴(小泉英三郎)友人矢田周一(伊東文夫)

先般漢城病院內科部を辭し歸省中の處歸京左の所に於て診療に從事す

當分火木土曜は午前中診察

理事廳前

統監府通信管理局囑託醫學得業士 池田季雄

▲本町座 本晚の出し物は『可憐士官』にして配役左の如し

娘れ種(今井)作藏(石卷)兒分辰(伊東)井上曹長(薬山)綠事林(土居)皆川少尉(田中)金齒の際三(南鄉)海野芳太郎(中川)洋服屋手代伊東(小泉)審判官森(秋山)兵士(秋岡)同(佐藤)小使(喜多)姉千代子(三浦)車夫村上(敷島)女中れ光(四位)刑事太田(島村)馬鹿竹(三次(白川)

廣告

◉新聞配達人大募集●●●●●●●

▲本人直接來局アレ 身元引受人及印形ヲ要ス

京城旭町一丁目角

東京報知新聞京城支局

一事務員募集

一能筆の事務員 貳名

內一名は法律思想を有する者

右募集に付希望のものは至急履歷書携帶當事務所に申込まるべし

但市內に確實なる保證人を要す

八月十一日

京城本町壹丁目

小川勝平事務所(電話四一一番)

京義線 京仁間 列車復舊

一水害の爲假時刻にて運轉致居候處八月十三日より平常の通列車復舊運轉旅客、荷物の取扱いたし候

明治四十一年八月

統監府鐵道管理局

廣告

來ル十四日ハ開國紀元節ニ付休業致候間爲念廣告仕候也

八月十三日

第一銀行韓國總支店

十八銀行京城支店

五十八銀行京城支店

大日本麥酒株式會社

景品附大賣出第二回當籤番號

當籤數千六百六十本空籤なし

一等(公債證書額面二百圓) 壹、六參貳

二等(勸業債券八十圓) 貳壹○ 六四五

三等(勸業債券四十圓) 一、一七五

四等(貯蓄債券二十圓) 三六 一、○五七 一、○三○

五等(商品切手十圓) 五三六 三九 一、二四七 一、二八九

六等(商品切手五圓)
一二五八九○二三三
六○六一七九五二八
二○四三六八二二四五
一二五八○○二三四
四七四八二二九六四四
六五九二一六三八八三
一三六九○一二三四
七八六四二三二八五五
三三七四九八九六五一
一一三六九○一二三五
五九七七三五四九七三
五七二二七八三五三六

○等外總て二十錢相當の物品

○差出申候景品引替期限は八月廿五日迄の事

○景品引替は京仁麥酒販賣組合事務所及各特約店にて仕候

電話開通二七三番

新町遊廓 南山樓

土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種

京城代理店 歐米雜貨商

京城本町六丁目

(吉) 岡野商店 電話(五七一番)

電話番號變更 電話七九番
高等洋服裁縫 西岡支店 京城長谷川町一丁目
東京日本橋區通二丁目十二番地 西岡本店 電話本局二六八九

老妓 茶羅次の身上話（一）

◎洒し首に逢ひに行く

其汚れ物といふのが今考へて見ると例の鼠取藥を吞まして殺した旦那が苦しまぎれに吐いた血だつたんです其日の晝頃になるとお絹さん家へ人が這入つたり出たりして、お絹さんは役人に連れて行かれたといふ騒ぎなのでしよう妾も小供心に驚きましたねお絹さんはトウ／＼死刑といふ事になつて小塚原へ其首をさらされました絹さんに如何な眼い事があつたか知らないが彼んな柔順しい宜い女を殺すなんてお役人も隨分酷いわと何彼と世話になつて日頃小供心に有り難いと思つて居りましたので其當時はソンナ氣も致しましてすよ夫れでお絹さんの首に遇たく／＼仕樣が無いのですが我家の者は洒し首なんぞを小供が見に往くもんぢやあ無い夫れに小塚原といふ所は大層に遠い所だから廢すが宜い／＼といつて我家から出して呉れないのでしようそうなるご猶更らだ絹さんの首に遇ひたくなつて堪りませんトウ／＼人の目を忍んで我家を驅け出しました一心といふものは何處を如何聞いて歩いたか其小塚原の刑場へたどりつきだ絹さんの首を薪樣ふりわをのいて見た時は急に悲しくなつちまいましてねワアッといつて其處に泣き倒れて仕舞いました色艶の宜い美くしかつたお絹さんも首になつて洒れてば色もそうもなく只樸い顔になつちまいました小供心にも余り人に見せたくないと思つて番人に早く下す譯にはいかないものかと聞きますと于下しちもうつて事は出來ない一兩二分出しさへすりやア三日間は蓋をして人の目に觸れさせない樣にしてやらうといふのですッド其此の一兩二分だからナカ／＼の大金で小供なんぞの自由になるもんぢやアありませんが其時ばかりはア丶其一兩二分があつたらとヅック／＼ほしいと思いましたす

ソレから此お話は取ッときに仕樣と思つたんでムりますが一序ですから大負けにして申し上げて仕舞ましよう仙臺の財產家で佐藤三之助さんとたつしやる方が妾が吉原に居ります時分宜くお遊興に入らつしやいました賤つて十日位キット流連をなすつてお茶屋の二階にゴロ／＼してれいでなさいましたが始めの二三日は取りまきの藝妓も種々な事をやつては騒いで居りますが五日となり七日となつては如何な事ッても厭が來ます夫れも何處かへ遠出といふので毎日／＼目に遣入るものが變るとか又は聞くものが違うとかいふのなら隨分我慢もーーイヤ夫れころ面白くつて有り難い譯でムいますが寢ても起きても一ツ坐敷で食べる物だつてソウ／＼かはつた物ばかりは無しいふ事だつて毎日同じ顔ですからお腹を抱ゐる樣なのは種切れになつちもうので無理はありません

▲京城辯護士案內▼

辯護士 皆川廣濟 京城南山町一丁目山手 （電話八五七番）

京城旭町三丁目 永井法律事務所 （電話二三八）
辯護士 永井道忠
辯護士 白井勝悟

辯護士 大久保雅彥 京城旭町二丁目 （電話八三九）

辯護士 岩田仙宗 元判事 法律學士 明治町三丁目七十五番戶 佛國敎會表門前 電話三五四番

辯護士 藤井太郎 本宅 京城東大門外玄峴運別莊 事務所 京城旭町二丁目

辯護士 明法學士 前代議士 高橋章之助 事務所 銅峴三十三統五戶（明治町突當） 電話二五六 本宅 京城本町五丁目 電話一二四（長距離）

辯護士 莊子斌 京城理事廳前

原金旅館 本店 仁川理事廳通（電話三二番） 支店 京城南山町（電話一〇七番）

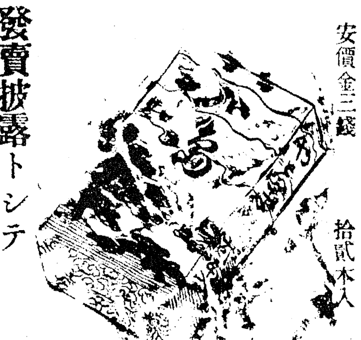
提灯製造 並張替及瓦斯燈書替へ 弊店は業務確實にして仕事叮嚀なり 京城本町理事廳前裏通 藤井提灯廛

京城本町壹丁目 シノサキ書店 電話[illegible]
營業品目
▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆 謄寫 版發賣元
▲諸官衙用達▼

◎木戶錢いらず
◎觀覽券 ◎特等金七十錢 ◎一等金六十錢 ◎二等金五十錢 ◎三等金三十錢
伊東文夫一座 旭町歌舞伎座
◎毎日午後六時開幕

西洋御料理宴會 日本人倶樂部 京城南山町三丁目（電話一二三番）

高等御下宿 不二屋 明治町三丁目（日韓印刷會社筋向入）
設備完全にして頗る閑靜なり
客扱叮嚀にして官吏、會社員の御方に最も恰適す

韓國煙草界ノ大發展ヲ見ヨ
新製品

安價金三錢 拾貳本入
親箱ノ意匠ガ頗ル高尚ニシテ贈物ニ好適ノ評アリ
發賣披露トシテ當分金貳錢五厘
今ヤ母國製品ヨリ優良ナル產物ヲ生シ得

神佛葬具請負 並に佛具販賣
貧困者は特志取扱申候
京城南山町四丁目（花月向） 左文字屋 取次電話八四九番

諸官衙用御品調達
營業科目 紙類書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐デシン 穀物食鹽 織物染料
各學校用品調達
並に委托販賣
東京合資會社アライアンス商會代理店
橫濱百七十六番ピユーナムエンドライック商會代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺驛合資會社食鹽特約店
藤田合名會社 本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番 出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

眼科 內科 外科 松岡醫院 新築落成入院隨意 明治町壹丁目本町座前 電話六七五

石材大販賣
品質の優等なる江華島產を淩き運搬の至便なる京城第一也
開業爲御披露特別勉强大割引を以て可應貴意候也

京城永樂町 赤門前 土木建築 測量設計 堺事務所

韓國京城 株式會社第一銀行
電話番號 營業用 一一番 國庫生 六二番 當直用 一一番 用度用 六二一番 營業用三三一番 分析所用 六二二番
本店 東京市日本橋區兜町
內地支店、出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區新大阪町
韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城、淸國安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

東京 生そば 東京庵 京城壽町三丁目（高井病院隣） （電話架設中）

開業御披露 會席御料理 本町七丁目南入 萩の家

煉瓦、瓦製造販賣 並製紙販賣 永登浦 煉瓦工場 內田泰藏 長島綱吉

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓 積立及繰越金八拾萬圓
京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店 （電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
大阪 熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 （利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店 （十八銀行京城支店）

日本澤庵 味噌醬油釀造 乾物荒物罐詰 銘茶食料雜貨
漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店 （電話二五一番）

京城 株式會社第五十八銀行 電話番號五十八
資本金三百萬圓
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉
東海道 東京、橫濱、千葉、大磯、甲府、靜岡、沼津、濱松、豐橋、名古屋、宇治山田、熱田、龜崎、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、仙台、青森、秋田、土浦、能代
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、濱田、久手、大田、宅野
山陽道 龍野、明石、赤穗、姬路、西大寺、倉敷、笠岡、庭瀨、高梁、玉島、西江原、福山、鞆、府中、尾の道、三原、吳、宇品、廣島、岩國、宮市、三田尻、德山、小郡、山口、柳井津、平生、長府、小月、下の關、萩
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、郡中、西條、松山、三津濱、高知
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、臼杵、長須、大分、湊（島原）、佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣

銀行一般の業務精々便利に取扱可申上候

日本郵船株式會社 電話十番
仁川瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 八月卅日 後三時出帆
●大連、大沽、牛莊行 商砂丸 八月廿七日 後一時出帆 山東丸 八月十八日 前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月 日 後一時出帆
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 弘前丸 八月 日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ス

●新聞料 一枚金三錢 一ケ月前金卅五錢 三ケ月[illegible]
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 ●特別[illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城新聞社 電話六六三番